

事業名 CD	0105010120	緊急雇用対策事業（非常勤職員雇用）		
細分化した事業名		県基金事業分		
事業担当課室 CD	200400	保健課	整理コート*	

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり
	中項目	地域の絆を深める福祉社会の実現
	小項目	高齢者福祉の充実
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	後期高齢に入ったばかりの 75~77 歳の一人暮らし高齢者の生活・家族・健康・相続問題・近隣住民との関係について調査し必要があれば相談にのりそれぞれの問題解決のために専門家へつなげる
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	民生委員による一人暮らし高齢者登録台帳のうち、75歳から77歳までの方。
これまでの改善経過	
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他() ①電話で連絡する②話を聞くことが可能であれば訪問し、作成した「自分史と安心マップ」を渡す③結果：別紙一覧に記入(体・心の状況と権利擁護関係に分けて整理し問題を明確化した)④記録(基本情報・基本プロフィール記入)
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	・老後の財産管理への不安や健康問題が大きくなると一人暮らしを続けていくことが難しくなり支援が必要と考えている。財産等権利擁護を含めた成年後見制度へ、又適切な治療・医療へつなげていくことで①財産管理において混乱する人を減らす②適切な治療を指導していくことを目指す

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)			3,671	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金			3,671	
	市債				
	その他				
	一般財源				
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)			0.5 0.21	
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	0	0	1,433	
D	総事業費(A+C) (千円)	0	0	5,104	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト	159 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	①75～77歳の一人暮らし高齢者（台帳届出あり） ②訪問者 ③連絡とれず ④届出・死亡等				①68人 ②50人 ③12人 ④6人
成果指標	訪問率 要介護状態になった時の介護者が決まっていなものの割合。 財産管理への不安があるものの割合	18人/50人（要介護状態になった時に介護者が決まっていな人/訪問者数） 40人/50人（財産管理に不安あり/訪問者数）			73.50% 36% 80%
効率指標	1件当たりの費用	5,104,000円/68人			7,505円

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 通常業務の中では手のつかない部分であったため今回この事業に特化して行うことができたため妥当。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 今回「自分史と安心マップ」を作成したことで一人暮らしの人への心構えを促すことが出来、安心につながられた。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 通常看護師の訪問1件8070円であり1件7505円で価格も抑えられた。集計も行ったため一つの実態を表すことが出来た。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
------	--

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 効率化（結果単位あたりのコストを下げる） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、または廃止する） <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
---------	---

改善・改革案	改善・改革の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）		
	(1) 中長期的 一人暮らし高齢者のうち後期高齢者の全数把握を行い、今後の暮らし方を明確にし介護・医療スタッフが一人暮らしの緊急時の対応が出来るようにしていく	(2)23年度 85歳までの方を対象に実態把握訪問を行う	(3)22年度 年齢の拡大を行って80歳までの方を対象に実態把握訪問を行う
	21年度の改善計画		
21年度の改善結果			

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	
---	--

課長所見	今後対象者も増加し、市の高齢者に対し欠かすことができないと事業なるので、緊急雇用対策事業が終了することになっても継続する体制をいかに確保していくか工夫と努力を
------	---